

## 第17回県政ひざづめ談議結果概要

○実施日時：平成23年2月4日 14:00～

○開催場所：甲府駅北口まちづくり推進委員会事務所

○対話グループ：まちづくり推進関係者

### ○司会

大変お待たせいたしました。

知事が到着いたしましたので、県政ひざづめ談議を始めさせていただきます。  
まずはじめに、横内知事からあいさつをいたします。

### ○知事

皆さん、こんにちは。横内でございます。

今日は皆さん、それぞれお忙しいご用件のおありの中だと思えますけれども、  
こうしてお集まりをいただきまして、本当にありがとうございました。

今日は甲府駅の北口のまちづくり推進委員会、また南口のまちづくり研究会の  
皆さん方にお集まりをいただいているということでありまして、もう長い間、こ  
の甲府の中心街のいい街をつくっていくために、大変ご尽力をいただいている  
方々だと聞いておりまして、楽しみにしてやっけてまいりました。

何と言っても、この駅の周辺を中心とする甲府の中心街となる、山梨県の玄関  
口でありますから、この地域が元気を出し、活性化しないことには、県全体が活  
性化しないというような思いで、もちろん市が第一の仕事をするわけでありませ  
が、県としても大事な課題だと思っているところであります。

北口につきましては、市の新都市拠点整備事業がようやく完成に近付いてきて、  
建物も建ち始めたというところであります。

県といたしましても、ご案内のように、よっちゃばれ広場の北に県立図書館を  
建設するというところで、すでに工事が始まっているところでありまして、来年の  
24年の秋には県立図書館が完成するということとなります。

いろいろ工夫を凝らしております。特に、一番我々として工夫したのは、単に  
図書館ということではなしに、できるだけ人々が集まる交流の拠点にもなるよう  
な、そういう施設でありたいということで、例えば展覧会とか、お茶とか生け花  
とか、そういう展覧会が開けるようなスペースだとか、あるいはちょっと寄り集  
まりの場所だとか、山梨大学の学生さんたちがセミナーでも開くような場所とか、  
そういうようなものを設けたりしております。

ほかの県の県立図書館の完成したものを見ておきますと、大体、年間50万人  
から60万人の人が来るようでありまして、ここもやはり恐らくそのくらいの人  
が来る。そうすると1年間休みを除いて300日とすれば、1日2千人ぐらいの  
人々が出たり入ったりするということでありまして、北口のこのにぎわいとい  
うものには、一定の効果があるのではないかと考えているところであります。

それから南口のほうにつきましては、このたび市と一緒に南口地域の修景整備

をやろうということで、景観をよくするための整備事業、今の時代ですから、あまり大きい箱物の再開発をやるということではなしに、景観をきれいにして、目が覚めるような美しい街並みをつくっていかうではないかというような計画を今、検討を始めて、皆さま方にもご参加をいただいているところであります。

25年前にかいじ国体があって、そのときに今の南口の駅前広場、平和通りを整備したわけでありましたが、それから四半世紀経つわけでありますから、そろそろ新しい目でこの南口のあり方というものを見直して、そして再整備をする必要がある時期ではないかと思っているところであります。

そういうことについても、また皆さん方にいろいろなご意見を、ぜひ聞かせていただければありがたいと思っているわけであります。

加えて、お城周辺の整備だとか、いろいろな課題がありますが、何と云ってもやっぱり甲府の中心街の活性化のためには、この駅を中心とする北・南が元気にならなければいけないということであります。

このことを県としても一生懸命取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げたいと思います。

今日は県政ひざづめ談議ということで、ざっくばらんに日頃、いろいろとお考えになっていることを遠慮なくお聞かせいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げたいと思います。

今日は本当にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

○司会

それでは続きまして、同席しております、県と市の担当者を紹介させていただきます。

まちづくりについての計画策定ですとか整備などを担当しております、都市計画課の山下まちづくり推進企画監です。

○まちづくり推進企画監

皆さんこんにちは。都市計画課の山下と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○司会

続きまして、中心市街地の活性化に取り組んでおります、甲府市の中澤中心市街地振興課長さんです。

○中心市街地振興課長

中澤と申します。よろしくお願いいたします。

○司会

それでは早速、ひざづめ談議を始めさせていただきます。  
よろしくお願いいたします。

○知事

何でも結構ですけれども、順番として北口から何か1つ。

○参加者

私のほうからいいでしょうか。

今、知事さんからもお話がありましたように、図書館、我々も非常に期待して

いるところであります。

その図書館、知事さんの中にも話がございましたが、単なる図書館ではなくて、やっぱりにぎわいをつくる1つの、それも目的だというようなことがありましたが、やっぱり地元といたしましては、夜10時ぐらいまでみんなが活性化のために、交流の場所として使わせていただけるような、ぜひそんなようにしてほしいなど。

○知事

夜10時ぐらいですね。図書館というものは何時頃まで開くものですかね。

○司会

現状の図書館より時間は延ばそうということで、検討中だそうですね。

○参加者

去年の春ごろにいったら、9時ぐらいまではやりたいなということをお願いしたんですが、できれば10時ぐらいまで開いていただいて、町の活性化とか、にぎわいをつくるとか、みんなの交流の場所としていただければ、非常にありがたいなと、こんなふうに思っているんですけども。

○知事

よく、それは検討してみましよう。夏と冬の違いもありまして、冬は10時では、なかなか難しいかもしれないけれども、夏はあるかもしれませんね。

○参加者

この北口中心だけで考えてみると、この地域はすごい恵まれているところですよ。

江戸時代の山手門、これは復元ですから、昔のまま、それから明治の藤村記念館、それから昭和の名建築、山梨文化会館ですね。大正がなくて、平成の建築ということで、北口が新しくできたと。4つの時代にまたがっているんですよ。

こういうものをすごく大事にしていかなければいけないし、今まちづくりをやるについて、やはり先端主義をと、先に先に新しいものを取ってきても駄目なんですね。

今は復古主義ではない、懐古主義だと言われているんですよ。昔を懐かしむ。昔に戻ってはいけませんよ。昔を懐かしむ。そして暮らしやすさはそのままというように考えると、せっかく誇線橋の脇の歩道を広げてくれたにもかかわらず、あそこには全然お城のイメージがないんですよ。

だから例えばJRで広げてくれたのは、JRの枕木を、あそこへ、舗装の代わりに全部並べてくれたとか、そういう細かな配慮はあってもよかったのかなという気はしますよ。

要するに、使っているのは木と石と土だと。アスファルトとか、ラバーとか、そういうものはできるだけ避けようねというような感覚で・・・そんなものが統一感として出てくると、甲府の街もすごく面白くなるのかなと思いますね。

○知事

だけど、あの橋がよくないですよ、全く。ああいう橋は。トラス橋ですか、鉄骨のあんなものが、あんなところに。

○参加者

あれは上を取ると、落ちちゃいますね。

○知事

それは下が線路ですから、何といたしますか、途中で柱を打てないから、強度を保つために、ああいうトラス橋にしているんですが、だからあれを取れば落ちちゃう。もうちょっとうまいやり方があったかも知れないですね。

○参加者

でも、あれはそろそろ文化遺産になるんですよ。

というのは、リベット打ちの橋から、溶接加工の橋へ移る、その過渡期にある橋で、あれはリベットと溶接、両方使っているんですよ。

誰もそんなこと知らないんですね。だから間もなくあれも文化財になりますよ。

○知事

だけど、大手門が北口へ復元したのはいいけれども、そしてお城があるとしても、その中間がこう・・・。

したがって、やっぱりお城的な何か、今言った橋もお城的なものであってほしかったですね。

○参加者

関連して提案ですが、もともと舞鶴公園と歴史公園はつながっていました。

それで今の橋のことなんですが、この4年間でぜひ実現してもらいたいののが、ここに太鼓橋、今言った、木でいいですよ。お城のところとこの歴史公園の上のところを線路を敷く前は、地面でつながっていたんです。

ですから、そこにJRとの協議の中で太鼓橋、木でつくった太鼓橋それを線路の上にもたがらせてもらえれば、この関連性が出てくると。観光客もずっと、両方来られると。一方だけではなくて、両方でにぎやかそうと思って。それを4年間で、一つ実現してもらえればね。10年計画でもいいですけども。

○知事

太鼓橋なんて、相当大きい太鼓橋ですね。

○参加者

そうですね。大体5メートルぐらいある。

○知事

山口県にある、錦帯橋のようになるんでしょうか・・・人間だけが通れるようにすると言っても、線路の中へ杭が打てるかどうかですよ。

○参加者

東京から来た場合、こう見たときに、目の前に橋があるなんて、陸橋に比べれば全然いいですよ。左右にお城があるわけですから。

この際、検討するいい機会で、なかなか、どこへ行って言えばいいかと思ったんですが、知事さんに言えば一番、手っ取り早い。

ありがとうございました。

○知事

いかがですか。

これからまちづくり委員会は、どのような活動をしていかれるのか。いよいよ街もでき始めて。

○参加者

跨線橋も歩道を広くしていただきまして、非常に快適に南北がつながるわけですね。いろいろな方が指摘しているんですが、東京ガスから南につながっている踏切が非常に狭くて。人が歩いて、車が両側から来て、自転車が通ると、目いっぱい、歩行者がちょっと遠慮しがちに歩くと。

ですから、今のこの太鼓橋の話もあるんですが、こちらのほうの踏切を安全にできるようにしていただければ、かなり難しい課題だとは思いますが、ご検討いただければと思います。

○知事

踏切を広げるという話は、従来は道路サイドも鉄道サイドもそれは実際やらなかったんですよ、基本的には。

けどそれは、最近はどうやうになったんでしょうね。できるんですよ。

○まちづくり推進企画監

基本的には、踏切を立体化とか、JRサイドの強い要望等がございます。

○知事

けど、その安全性だとか、そういうことを考えたときに、必要なものであれば広げるべきものだと思いますよね。今、何か不自由はありますか。

○参加者

今、非常に狭くて危険ですよ。歩行者が通れないような。

○知事

そこは、県道ということですか。

○まちづくり推進企画監

県道ではなく、市道になっています。

○参加者

何か陸橋をかけるときに、これをふさぐという条件らしかったんですが。だから、これを広げてくれというと、あそこはふさぐという条件だったからと、すぐにそう言われて。もう時代は何十年と、もうだいぶ前の話のを持ち出すから。

○知事

約束は約束として、何年も経っているわけですから。状況が変わってきましたからね。

○参加者

市の守備範囲なんです、JRを説得するのに非常にハードルが高いので、市と県が連携して、改善をぜひお願いしたい。かなり昔からの課題です。

○知事

地元では昔からそういうことを言っているわけですか。

○参加者

そうですね。

○参加者

すごく拡幅しろということではなくて、せいぜい、安全で、子どもたちが安心して、年寄りでも子どもでも歩けるのが、やっぱりこのぐらいのことぐらい。

○知事

それは初めて聞きましたね。なるほどね。

○参加者

両脇に1メートルずつぐらい歩く場所をつくったって……。

○知事

あれは一応、歩道はあることは、あるんですか。

○参加者

ないです。

○知事

歩道がないんですか。それは困りますね。

○参加者

歩行者が結構多いんですよ。

○知事

通学する子どもたちもいるでしょうね。

○参加者

英和中学校もあるからね。

○知事

北口の皆さんは、今度はおそこを指定管理者で受けて、管理をするわけですね。

○参加者

我々は十何年前から民間の、本当に有志でというか、街が一緒になって、あそこを活性化しようということでもずっとやってきたんですが、今度、指定管理者制度になると、あそこを自由に使えないということで、では我々が今度、指定管理者になって、あそこを自由に使って、そしてにぎわいを創出していくんだという、そういうような発想から、指定管理者という挑戦をして、たまたま我々が指定されたという。

○知事

それは単なる管理だけではなくて、あそこでいろいろなイベントをやったり何かを、そういうこともやるということなんですか。

○参加者

そうですね。月に何日かを、毎月やるというような。

○参加者

年間40回以上です。

○知事

あの広場を使ってやるということですか。

○参加者

広場、歴史公園、よっちゃばれ広場、ああいうものを使ってやっていこうと。当然、管理もするわけですが、当然、夜中でも安心して、だから住民がボランティアでいつも周りを見て歩いたりとか、声をかけたりとかして、きれいに。

○知事

あの藤村記念館の中は入れるようになるんですね。

○参加者

入れます。そこへも、また管理を置いてね。

○知事

それは楽しみですね。

○参加者

ぜひ、また県からの応援も一つ、よろしくお願いします。

○参加者

私は南口から来ているんですが、ちょっと北口で1つ、前からぜひしてほしいなと思っているのが、愛宕町下条線が東京ガスで止まっちゃうと。そこから私は、止めるとあれはやっぱりいい道路ではないから、あそこはやっぱり愛宕トンネルからもう1つつくって、一番簡単なのは斜めに入れて、前の料金所のところへ出るような、そういうトンネルをつくと、東西が甲府から以降、東側のスムーズな、すごくよくなるのではないかということで、工事費もそんなにかからないみたいだから、新山梨環状道路北部区間ということもあるけれども、その良し悪しは私は言いませんが、その前にこの第2愛宕構想というか、そういうものをつくれるのであれば、つくったほうが、早く安くこの東西を良くして、北バイパス（山の手通り）の渋滞を緩和させるのではないかということの前から思って、それは言っているんですが。

○知事

県庁の職員の中にもそういうことを考える人はいるんですが。どうですか。いるけれども、あれは相当金がかかるんですか。どこへ出すんですか。

○参加者

まっすぐに行くと東光寺に行ってしまうから、住宅がいっぱいあるので、斜めにTDKの、もとの料金所のところに出れば、あまり住宅は関係ないので、それがいいのかなという感じがするんですが。

もう1つは図書館の運営だけでも、民間のそういうノウハウ、東京あたりでは民間が運営して、いろいろな企画をしながら、人寄せをすごく工夫しているので、図書館全体は県が管理する。図書館の運営を民間のそういうプロの人に委託することは、人を1人でも多く呼ぶことにつながるのではないかなということも考えます。

○知事

図書館はもう今、ボランティアを募集してしまして、そのボランティアの人たちに図書館の中の事実上のいろいろな管理とか、そういうたぐいのものは、もう出来るだけお願いするようにしている。

○参加者

全体の運営をね。企画とかそういう、やっぱりボランティアではなくてプロの人がね。

○知事

そうですね。指定管理者ということもあるかもしれませんが・・・。

今の図書館、ボランティアが一生懸命やっているんですよ。そういうこともあって、指定管理者までは当面は考えてないんですが・・・できるだけボランティアを使ってやっていこうという方針ではあるんですけどもね。

○参加者

プロが1人入るだけでも違うと思いますよね。

今の県民文化ホールなんか、YBSから人が行ったと思うんですよ。あれからやるのが全然違うんですよ。内容がね。

いろんな有名人を呼んだりとかと、しょっちゅう、イベントをやっていますよね。

あそこはすごいですよ、今ね。やる人によって、変わっちゃうんだから。

○知事

人によってね。それはそうかもしれないですね。

○参加者

美術館も評判がいいですよ。

○知事

美術館はミレーの美術館ということで、そうなんですけれどもね。あれは指定管理者で、いわゆるサントリー美術館グループがやっていますけれどもね。

指定管理者ということも、あるかもしれませんね。

とりあえず方針でボランティアを今、募集している最中ですから、あなた方いらなくなりましたとは言にくいので・・・。

やってみて、指定管理者というのは将来的には、確かにこれはあるかもしれませんね。

○参加者

ボランティアより必要だと思いますよ。

○知事

そうですね。

愛宕町下条線を延ばしていくという計画は・・・。

計画というのかな、構想としてそういうことを言う人はいるんだよね。

あれは県の都市計画課の人は、どこへ延ばしていくつもりでいる。

○まちづくり推進企画監

ルートとしまして、先ほど申し上げました、TDKのへんへタッチできないものかと。さらに、もう少し真っすぐ行かして、善光寺のほうまで進めないかかという検討も・・・まだ、愛宕町下条線が全線供用されるだいぶ前の時期でしたが、やはり抜本的には北部区間の環状道路を優先すべきというようなことで、それ以上突っ込んだ議論はしてないのが実情です。

○参加者

それができると、向こうがいなくなる可能性があるんですよ。だから困る人がいっぱいいるんですよ。

○知事

そういう計画はある、計画というか構想はね。だから、それは消えないと思いますよ。

○参加者

ぜひ前向きに。

○参加者

せっかくあれが、向こうの竜王のほうまで抜けていますからね、今。

○知事

あれでいろいろな意味で、便利にはなりましたね、確かにね。  
高速道路を使うのに、本当に双葉が近いからいいですよ。

○参加者

これへ入ってきて、みんなしぼまれちゃうから、ちょうど便秘しているようなもので、ここで詰まってしまう。

○知事

そうですね。  
しかし、いよいよイベントをやるというのでは大変ですね、それは。

○参加者

NHKにもお願いに行きまして、図書館もまだ準備室で、去年の春ごろお願いにいきまして、一緒にぜひ、にぎわいをつくりましょうという話にも行きました。そんなことで一緒にぜひ活性化を。

○知事

あと予算は市が年間に、指定管理にするとしていくらと、ある程度出すということですね。  
その範囲内でやっていくということですね。

○参加者

そうですね。

○参加者

今回、県のまちづくり地域活性化促進事業の補助金も助成金もいただいてやっているんですけども、その使い方ですね。まだまだ山梨県は遅れていまして、先進県と言われるところは、人材の育成とか、そういうことにまで使っているよという項目が入っているんです。そのイベントをやるにつけて。

ところが、山梨県なんかの場合、まだまだ実際にかかる費用の中の具体的に形で表れるものしか補助しませんという、非常に遅れている感覚をお持ちなんですね。

○知事

イベントの補助金というのはどういう・・・地域活性化促進事業補助金なんてあって、100万円ぐらいあるんだけど、あれですか。

○参加者

どんどん後進に道を開けるような、幅広く人材を育成できるような形を残しておかないと、そこで終わってしまうんですね。そういうような使い方というのは、

補助金の今、最先端といわれているところは全部、40%ぐらいは人材育成に使っている。

○知事

どういことなんでしょうか、人材育成。

○参加者

人材育成というのは、要するにお祭りをやっていて、下山甚句という話が来た場合に、下山甚句をやっている人はいいんですが、後継者がいないわけですね。その人たちの後継者育成に、使いましょうかということが、人材募集から入って、チラシをまくから入って、学校みたいなものをつくってやるとかというところまで入っていくと。

浅草なんかは、そういう点、すごく進んでいますね。三社祭りのみこしの乗り方を指導する、その人を育成するとか。

○知事

ちょっとそういうものを、よく調べておきましょう。

○参加者

ソフト重視ということ。

○知事

ソフト重視ね。

○参加者

南口ですが、修景計画とかいろいろ見ると、緑だったり、それからあとペDESTリアンデッキ、あとは一方通行であるとか、いろいろ出ているんですが、観光客のほうばかりを見ているようで、何かそこにおいて、まず商売をしている人だとか、毎日通勤だとか、いろいろなことで使っている人たちとか、生活道路として使っているようなところだとか、そういったところをもっと調べていただいて、進めていただきたいなど。

緑ばかりあっても、どうなのかなと。もう少し駅前の商店街の人たちもそうですが、商売という部分で何とか駅前で生業を立てていかなければならないので、そうするともっと平面に歩けるような、はっきり言って、ペDESTリアンは、ちょっとどうかなと思いますし、観光という部分でも食っていかなければならないといえ、そうしたらやっぱり駅前だとお城だったり、それから駅からちょっと遠いですが、武田神社とかいろいろあるんですが、駅前からいろいろ発信する、交通なんかもどんどんそういうようにしていったら、観光客の人たちに分かりやすい案内もそうですけれども、いろいろなものを持ったほうがいいのかななんて思うんですが。

○知事

交通、バスのネットワークなんて甲府の駅前を起点にしていくことになると思いますね。

そうすると、おっしゃることはあれですか。ペDESTリアンデッキと、それから木が多過ぎる・・・。

○参加者

ペDESTリアンも大きな店はいいと思うんですが、小さい店とか、平面で商売されているような方はちょっと・・・お客様を平面で歩かせるとか、そういった方向でやったほうがいいですし、あとお城のところに行く道路ですね。今、一方通行ではないんですが、それを一方通行にという・・・。

○知事

デパートの横ですか。

○参加者

はい。あれはかなり、使っている方もかなり不便になると思いますし、確かにあそこを渡るのはちょっと危険なようなところもあるんですが、あそこを一方通行にしてしまうと、非常に使い勝手が悪くなる。

○知事

あれを一方通行にする案もあるんですか。

○まちづくり推進企画監

今いろいろ案を絵にしたりしまして、現在その案についてアンケートをいただいているという状況です。あと、駅前広場の関係ですと、いろいろ機能とかを十分精査した中で、いろいろ幅広く意見を聞いて方向性を決めていかなければならないということで、現在修景計画の策定では、どういう広場にしたらいいのかというようなことを議論しております。今後機能とか、そのへんに特化した議論をしていく予定でございます。

平成23年度に駅前広場のあるべき姿とか、一番望ましい姿というようなことの具体的な方向性を出していきたいと考えております。

○参加者

このような機会を知事さんに持っていただいたと、本当に感謝を申し上げたいと思います。

その中でやはりこれからの甲府の駅前というものは、相当、変わっていかねばならないと思うんですが、やはりこの甲府のあり方というのを見ていまして、非常によその県から比べても、観光資源があるにもかかわらず、利用していないとか、そういうようなことを痛切に考えておるわけです。例えば甲府の場合ですが、都会の模倣とか、そういうものではなくて、独特のいわゆる地方のその生き方というんですか、時代に移行しなければならないと、そういうように考えています。

北も南もデッキでつないでいくなんてという構想が出ているようですが、やはり甲府の駅前へ観光客が来た場合に、駅へ立って、やはりその美しさとか、なるほど甲府はこういう街だというものの印象を与えるならば、決してデッキなんていうものは、よいかどうか。

いま少し検討をしていただきたい。

○参加者

リニアの話ですが、やっぱりリニアは今どこに駅ができるか、それは知りませんが、もう間もなくでしょう。ここの立場としましては、リニアの駅からいかに早くここに来られるかという、交通網というんですか、そのことが非常に気にな

るんですが、いかがなものですか。

○知事

リニアの駅はまだ・・・。

○参加者

駅はどこでもいいんですよ。決まったときに、いかにこちらに、すぐに来られるということです。分散化してしまったのでは、このへんは寂しくなってしまいますから。

○知事

リニアの駅は、まだ都留市だって可能性はないとは言えないし、それはまだ何とも言えないんですが。

やっぱり、どこに駅ができるにせよ、やっぱり甲府の駅前とのアクセスというのは、やっぱりしっかりとしなければいけないと思いますよね、確かに。

○参加者

それはまだ全然考えてないんですか。少しは何か。

○知事

場所について、何といたしますか、JRのほうがまだ検討している最中でして、具体的にどこというものが、全然出てこないんですよ。

リニアは500キロで走るものだから、簡単に回れないんですよ。だから県が例えば、ここがいいなんて言っても、行けなければどうしようもないからね。

スパッと決まって、それでおしまいというのではなくて、ある程度、事前に話があるんだろうと思いますが、しかしやっぱりある程度、大まかな、このへんしか技術的にはどうもなりませんという話が出て、ではそのアクセスをどうするんだという議論になると思いますね。

しかし、甲府市だって、やっぱりこの駅前とのアクセスというのは一番重視して考えるでしょうね。

○参加者

今までの南口の開発のいろいろな、あちらこちらの計画をしてみますと、潤いのまちづくりということで、例えばタクシーのプールは非常に問題があるということで、あそこに公園を持ってくるとか、潤いのまちなんていう形でやっていますが、現実には今、送迎用の駐車場があるんですが、駅前に歩行者専用というレーンをつくりました。だけどあそこでお客さんを待っている車がずっと止まっています、誘導員が出ている状態。

それから、山交百貨店の線路側の道路に迎えの車が並ぶ。百貨店の前にも迎えの車が並ぶ。要するに迎えに来る人たち、もしくは送ってくる人たちは、あの信玄さんの横に駐車場があっても、できるだけ近くに止めたいという心理で・・・

ですから、潤いのまちも必要ですが、さっき言った機能性というものが非常に大事だと思うんです。

たぶん駅を使う8割方の人たちは、ビジネスマンだとか、それからどこかへ出かける人だとか、そういう意味で機能性を重視して、駅前広場をつくっていかないと、将来またこんな公園があるけれども、誰も使っていないではないかというよ

うな現状が出てくると思うので、希望としては目に見えるところに送迎用の駐車場があるというような形で、北口みたいに30分は無料だよと。だけど長く止めるとたくさん金をもらうよと。本当に送迎だけに止められる駐車場を、目に見えるところに置いて、道路に止めないでここに止めなさいというような形をつくっていただければ、非常に機能性は持てると思います。

○参加者

ちょっとすみません。

知事さんのごあいさつがありましたように、とにかく今、知事さんが先頭を切って観光山梨を訴えております。

その表玄関の今のタクシーの状態を見ますと、本当に恥ずかしい思いでいっぱいでございます。

県都の甲府であるので、タクシーは県都の顔であると。今の状態では困ると。そういう状況の中で今の一等地を皆さん方でいろいろ検討してもらいたいと。

しかし、昔、ハイヤーやタクシーは贅沢です。今は交通弱者の方が一番利用しているんです。昼間はお年寄りが、病院・ショッピング、今まで私たちは公共的と自負していました。高度成長に公共的ではなくなってしまったんですよ。

やっとな最近、国でもタクシーはこれからは公共的ということでもって認知されました。

我々は国から一切補助金をもらっておりません。高齢者1割引き、これも全部会社持ちです。

それから知事さんもお承知のとおり、2、3年前に高齢者が非常に加害者、被害者になっているんですよ。高齢者の方の事故が増加して困ると、そこで私、早速、協会の役員会を開きまして、お年寄りが県のため、国のために貢献した人が、お年を取って自分で事故を起こしたり、加害者になったり気の毒だと。

そういうことの中で今の駅前の一等地を、知事さんがおっしゃるように観光山梨の表玄関ということですから、お年寄りの乗りいいように、また降りいいように、また観光客の皆さん方が乗りいいように、またお迎えもありますから、そういう点も考慮していただいて、今の一等地のところを何か開発したらいいのではないかと。

それからあと1つは、今、タクシーのドライバーが非常に無愛想ということですが、今、経済情勢で本当に厳しいんですよ。運転手がボサッと立っている、我々が見ても本当に不様で、本当に困ったということがあるんですが、やっぱりドライバーも、お客さんの生命・財産を預かるわけですから、例えばどこか向こうの、あまり目線の止まらないところで、お客さんに迷惑をかけないように、流れるような方策を取っていただいて、運転者がそこで背伸びをしても、周りの人たちから「ああ」というようなことを言われないように、やっぱり乗り場の所へ来る運転手はいつも整然と、「ありがとうございました」と笑顔が出るような、そういう雰囲気も、ぜひ整備の中で知事さん、ぜひお考えしていただければありがたいと。

○知事

非常に大事なことですよね。

駅前広場をどうしていくかというのは、一番中心的な課題の1つでありますタクシープールを、どうするか。おっしゃるようにタクシーだって公共的なものですからね。その回しがスムーズになるようになれば、これは非常に大事なことです。

○参加者

そのタクシープールを移動することとか、景観のこととか、ペDESTリアンデッキをどの程度するのか、しないのかとかという、修景計画検討委員会で今、意見をまとめているところですから、それをまた県などへ提案して、県のほうでご検討いただくように、足がかりになると思いますので、皆さんの意見なんかも組み入れた中で、近々でるはずですので、よろしくをお願いします。

もう1つ、私は観光立県山梨の表玄関なので、また甲府は江戸文化で発展した街なので、やっぱり観光の拠点である以上は、この江戸文化の雰囲気をかもし出せるような景観。最初に景観のことも言うてくれましたが、ここ100年ぐらいのうちに平和通りの両脇が、ずっとそういう雰囲気が出るような街並みができたらいいなと思っているんですが、その第一番目に範を示していただきたいのは、今から建てる県の庁舎。あの県の庁舎の外壁だけでも、中はどうでもいいんですが、平和通りに面したところ、スクランブルへ行くところ、陸橋のほうへ行くところの面がありますよね。

そういうところは、やっぱり江戸文化のような雰囲気、外の雰囲気を県の庁舎はかもし出してほしい。そうすれば、あとから建て直すところも右へ倣えをしてくれるし、それに対する助成も検討していただければありがたいと。向こう100年ぐらいは、全部そういう雰囲気ができるのではないかなと思うので、よろしくをお願いします。

○知事

県庁の今おっしゃっている外壁というのは、どのへんになりますか。

○参加者

今潰したところですよ。潰して今から建てるんだから、その外壁だけでも、そういう雰囲気をすれば、民間の建物もいずれ建て直すときには、右へ倣えをするだろうと。

○知事

防災新館というんですね。それですね。防災新館の外見に、その江戸的な雰囲気が出るようにということですね。

○参加者

そうですね。

そうすると民間の人も、右へ倣えをするでしょう。そのときの助成も考えていただければありがたい。

○参加者

そこで知事さん、今の県・市、それから地元で甲府駅周辺というか、南口の修景に関していろいろ意見を募集したり議論されていると、それと同じように、そ

こが主に公共空間を整備するということが中心になっているようですが、もう1つ民間のほうの修景なんか立ち上がってくるように、県や市で、そっちの後段のほうは、民間の主体で一生懸命考えるということになるんでしょうが、強力にご支援いただきたいと。

それからもう1点、その平和通りの景観ということでは、最近、カラスの糞ですか、鳥の糞が非常に歩道に散らばっておりまして、あれが快適な歩行空間がつけられているんですが、下が糞だらけですから、鳥の糞ですね。一度、歩いて見ておられると、すごいんですよ。

そのへんも全国的に、ああいう緑化のところというのは、鳥が寄ってきて、夜、糞をするということで、下が汚くなるということがありますが、せっかくあれだけの素晴らしい景観ですから、その対策と先ほど言った点、ぜひお願いしたいと。

○知事

あのケヤキの通りなんかは、だいぶ糞が多いですか。

○参加者

すごいですね、糞が。飲食の店の玄関口まで汚れていまして。

○参加者

夜暗くなって、10時、11時ぐらいに来ているんですよ。夕方はまだ来てないんです。

○知事

昼間はあまり見ないけれどもね。

○参加者

鳥目なんていう話はうそですね。

○参加者

県都の玄関口ですから、今後はその修景できれいにするにしても、そのへんの対策というのは・・・。

○知事

どうすればいいでしょうね。

○参加者

木を切れば一番簡単ですが、そうはいかないし。

○参加者

先ほどの民間の支援策もぜひ、こういうふうみんな集まっていますから、ご支援を。

○参加者

タクシーの運転手さんたちが、豆を大変やっていたんですよ。それで飛んでくる。

○参加者

私も修景計画検討委員会のほうに加えていただいているんです。日ごろ、県や市の都市計画課には大変お世話になっています。

修景計画について、一言だけ意見を言いたいんですが、今ちょうどアンケート

を、たたき台が出て取っている最中だと思いますが、やはり道路や公共交通にかなり重点を置いて考えているように思えまして、それはそれで土木のほうのコンサルタントが入られて、プロによくやっていただいているのかなと思います。もうちょっとまちづくりという視点で、例えば駅前広場、平和通り、県庁の中の回遊性やお城のあり方等々、私どもの商業施設をもう少しリンクした形でプロの目でご指導いただければ、今後は良いかなと。

このままいくと、先ほど言った山交のところの方が一方通行になったり、そういうような案ですと、今の既存の交通網だけをマイナーチェンジしているような形で、あまり商業施設と、駅前広場や平和通り、県庁が新しくなる、そのようなところとの派生があまり感じられないかなというところ。もう少し、そこらへんを掘り下げて議論できるような状況をつくっていただいて、今たたき台で出ている資料というものも、選択肢が1つのような、森があって、木があってみたいな話だけなので、地域の人たちにアンケートを取る上では、やっぱり2つ、3つ、選択肢があった中で意見を聞いていただけたら、中心市街地のたたき台が出てくると思うんです。

そういう部分を加味していただけたら、ありがたいと。

○参加者

やっぱり百聞は一見にしかずで、私もたまたまいろいろ全国的な何か会議があるときには出て行くんです。この間も実は山形へ行ったわけです。山形は、広場を有効に使ってある。というのは、地下道があり、デッキもあるわけです。

そしてやっぱり富山県も勉強になると思うんですよ。地下道といえば、何か金もかかるようですが、そんなところ、ちんけなことを言わないで、どんどんかけてもらって・・・

ですから、そうやってよそのことも勉強するというのもいいじゃないでしょうかね。

○知事

大事なことですよね。

○参加者

昨年、県議会で、南口の顔づくり、歴史が感じられるようなということで、素晴らしい答弁のやり取りがなされて、それは記憶に新しいところなんです。今募集をかけている、その修景計画の内容だと、ちょっと顔づくりの部分の議論が少ないかなと。もうちょっとそここのところに絞って、山梨らしさ、山梨の玄関口として、どうあるべきかというところを整理されたほうがいいのかというの、私どものこの研究会の中の目線では、そんな認識がございまして、ぜひともまた、まだこれから修景計画、来年度もかけているようですから、的を絞っていただければありがたいと思います。

○知事

具体的に山梨らしさといったら、例えばどんなようなイメージを持ちますか。

○参加者

まず駅前というのは、どうしても交通広場に特化されていますから、まずそこ

のところをもうちょっと考えていかないと、顔づくりのスペースがない。ですから、まずスペースをどうつくるかということと、もしスペースがつかれるような配置を新たに考えていくとするなら、山梨の歴史。歴史というと、やっぱり武田信玄とか、そういうものが共通の認識としては、全国に非常に知名度の高い歴史性といえ、それなのかなと。

信玄さん1人だけではなくて、もうちょっと複数の人のものを配置するとか、あるいは山梨は水資源が非常に豊かですから、こういったものをモチーフで駅前にそういうものをあしらっていく、しつらえていくというようにすると、顔づくりになるのではないかと。

もう1つは南アルプスがもうちょっと見えるような、甲斐駒だとか、あのへんが見えますから、そういう眺望ポイントをちゃんと確保して、建築規制をその景観軸からしっかりしていくとか、そういうことで顔づくりというようにされたらいかがかなと思います。

○知事

それは今、南口のまちづくり委員会では、いろいろ検討して何か案を持っているんですか。

○参加者

今ちょうど研究してしまして、景観検討委員会のほうに、修景計画のほうに今後出させていただく予定ではあるんですが、私どもの案はまたちょっと個性になると思いますので、県のほうではもう少し土木的な目線もすごく重要で、タクシーの問題とかバスの問題、絶対に重要だと思うんですが、もう少し都市計画的な部分に少しプロとかを入れてもらって、協議できる場をつくっていただくと、商業施設との対話がより一層図れるのかなと。

私ども、今、入っていても、あまり商業的な部分とリンクした話というのは、そんなにできていないのかなと。

○参加者

今、県・市、民間の人がやっている中に、民間の視点を入れるような分科会みたいなものをつくられると、もうちょっとドッキングできるのかなと。それは1案ですけれどもね。

○参加者

今、先ほどの修景計画は意見募集中でございますが、この案を見ますと、もう1つのこういう方向で検討されているということで示されております。

これは1ついいんです。そして、この意見でいろいろ求められていますからいいんですが、その示されたものが駅前の、駅広場も結局、タクシープールが現状、若干縮めた形で残ってしまっているんです。ですから、駅前広場としての観光玄関口のようなものが何もつukられない。現況のような形ですね。

駅から降りて横断歩道を渡って、バスの乗降客、乗降したりするところがありますよ。あれをさらに延長して、向こうのパチンコ屋さんのところの歩道へ付けるような計画で、今、意見を募集しているわけですね。そうすると交通上の、車と歩道がまたさらに平面交差の場面が増えるわけですね。

そしてタクシープールはそのまま。先ほどからもお話が出ていますように、駅前の甲府駅を甲府らしさ、山梨らしさとか、落ち着くなという雰囲気、これではつくりえないわけですね。今、タクシープールが小さくなっていると。

そうすると、タクシーは5台か7台が、現在のようにあそこへ待機していれば、ピストンでもうすぐ先ほどの乗降客の待機、駐車場がありますね。信玄公像のあの西に。ああいうところへタクシープールとか、あるいはもうちょっと行ったところに市有地があったり県有地があったりしますので、そういうところを活用してタクシープールにして、ピストンで来る。そうすると、駅前が違った景観になるということだと思えます。

それから先ほども再三出ていますように、駅前広場から平和通り沿いは商店街としての形成を将来して行って、それがココリであり、中心商店街へ結び付いていくような構想で、両サイドを考えていただきたい。

そして、観光客には県庁の公園化も計画されています。舞鶴城公園もあります。北口もあります。そういうところを回遊できるような、そういう総合的な計画の中で構想を練っていただいて、そしてまた県民からも広く意見を求めるし、地元の商店街の意見、こういうこともまた企画していただければと思います。

○知事

そうですね。確かに今のお話を聞いていて、いろいろなご意見で、地元の皆さんの話が十分に反映されてないと、今の案には。

何となく交通施設としての利便性みたいなものとか、景色がいいか悪いかとか、そういうことばかり考えられていて、商店街にとって本当にいいのかなとか。やっぱり歴史的な雰囲気みたいなものがちゃんとあるのかどうなのかとか、そういうようなことがあまり議論されていないものね。

そういうものも議論を詰めていかなければいけませんね。

○まちづくり推進企画監

幅広く意見をうかがう中で、地域に密着した計画にしていこうと考えております。

○知事

早くやりたいけれども、しかし拙速してはいけませんよ、やっぱりこういうものは。なんて言ったって、一番の山梨の中心の顔になる場所ですからね。あまりパタパタやってしまって、アンケート調査を取った、それからパブリックヒアリングをやった、それでいいじゃないかなんていう話でやるとうまくないから、やっぱりよく議論を尽くさないといけないだろうと思いますよね。

○参加者

それからいいですか。

観光客が来て、駅前で食事をしたい、ショッピングしたいと言っています。バスが駐車するところがないんですよ。そういうことで、観光客がみんなよそへ行ってしまいうんですよ。

○知事

観光バスが。

○参加者

はい。

それから、これは幾年か前ですが、私、安協に出ていますけれども、違法駐車の関係で署長と一緒にパトロールしたことがあります。そのときに署長さん、街は生きているんだよと。やっぱり車を止めたらいけないといったって、どうしても乗り降りする。物流の乗り降りをやるでしょう。多少なりとも停めるところがないと困るよと。

それで駅前通りは非常に歩道が広いと。センターラインが無駄なものがあります。大きい木もあります。大きい木のところ、所々ちょっと削って、そして乗り降りをする、物の積みおろしをするスペースがあれば、2車線が使えるわけですよ。1台が止まっていると1車線しか使えない。それがずっと南まで行ってしまうと、甲府へ来たい人も渋滞して、もうとてもこりごりだと、よそへいってしまうんです。

そういったことが、今度見直しのときに、何か駐車ではなくて停車ですか、そういうところを何箇所かつくってもらえれば、2車線が有効的に使えるんです。

○参加者

山交の停留所があるところが一部こう、歩道のほうに広がっていますよね。ああいう部分がいっぱいあると、本当にいいですよ。

○参加者

そうすれば、2車線が使えるんですよ。

街は生きていますから。その点をぜひ一つ今度、計画の中で入れていただければありがたいと思います。

○知事

その点はどうですか。今、計画の中に入っていますか。

○まちづくり推進企画監

意見をいただいておりますので、平和通りの中央分離帯として植樹帯が2.5メートルありますので、それを狭めることよって、そういったものができるかどうか、今検討しております。

○参加者

そうすれば、街が生きますよ。

○司会

発言をされていない方、いかがでしょうか。

○参加者

私は北口に住んでおりますが、やっぱり踏切のことなんですが、いつも踏切を渡るときには、線路のほうに下りて歩いていくんです、危ないから。車がどんどん通るので。だから、やっぱりあそこを早く何とかしてほしいと思います。

線路のほうへ下りてから行くんです。

○知事

線路のほうへ下りてと、どういうことですか。

○参加者

踏切の幅より、下に下りて行くんです。砂利の所に下りて歩くんです。

○知事

ハイヒールなんか壊れちゃうじゃないですか。

○参加者

本当にそうですよ。

○参加者

山梨へ観光客をどんどん引っ張ってこななければならない。それと同時に定住人口を増やすということも山梨の活性化だし、また税収も増えるわけです。それにはやっぱり中央線をもう少し短縮して、今1時間半。もう少しスピードアップして、知事さん先頭に頑張っているのはよく分かります。さらにそれへ強力に働き掛けてもらって、それで奥さんや子どもはこっちにいます。そしてここから通勤してもらおうと。ここへ住んでもらおうというような、そういうようなことも大事ではないかなと。定住人口を増やしていくということ。

水はいい、空気はいい、緑は豊か、この山梨の本当の気候風土をしっかりと活かしていくと、やっぱり違うんじゃないですかね。東京の空気の悪いところへ住んでいるよりも。

それともう1つ、北口に今度は駅前のところ、交番の敷地をつくったんですが、去年の夏ごろでしょうか。前には派出所があったんですよ。それがなくなってしまって、当分何もないということで、ぜひ北口もきれいになるから、交番と言ったら、交番は無理だと。では派出所でいいからと、いや、それもなかなか難しいということで、今、合理化で集約してしまっているからという話で、駅前には少なからず、では南口のあそこにあるけれども、あとはどこまでいくか、美咲のほうまで行かなければならないという。

ちょっと駅前にしてはあれじゃないですか。だから派出所だけでもつくってほしいと言ったけれども、なかなかけんもほろろで、とても。

ぜひ、そんな点で、お願い事ばかりで申し訳ないですが。

○参加者

大げさな箱じゃなくて、1坪くらいのもので南口に勤めている人が何時から何時と、必ずこの中に座っているみたいな、そういうものできっといいと思いますよね。

○参加者

赤い電気が付いているだけでも、違うんですよ。常勤していなくても。

○参加者

連絡できるようにすればね。電話でつないでね。

○参加者

誰かが飛び込んで、そこを上げれば、南口の人が出られるみたいなね。すぐ飛んで来られると。ちょっとしたことでいいんですよ。

○参加者

県警の県の土地が、パトカーの待機所ということで、何かあったときには、そこからパトカーが飛び出すという。交番とは違うんですが、そういうように利用

するんだということは言っていましたけれどもね。

それではなくて、やっぱり交番みたいなものがね。

○知事

警察は派出所を減らしている方向ですよ、だんだんね。

○参加者

あそこは北口の駅前ですから、何とか派出所だけでもね。常勤してなくても。

○参加者

警察署は減らしてるけれども、警察官は増やす方向なんでしょう。

○知事

警察官は増えているんですよ。来年だって、4月から増えるから。

例えば、富士北麓の自殺の青木ヶ原の自殺対策とか、そういうところに人が取られていくんですよ。

だから、やっぱり交番というのは減っていく傾向にあるんですがね。

警察に話をしてみますが、警察というのは、これは知事の指揮命令系統になくてですね・・・。

○参加者

図書館に人は来るし、学生は多いし、ぜひ派出所は。

○知事

それから、中央線のスピードアップと言うのも、JR東日本にはずいぶん言っているんですが、駄目ですね、これは。

むしろ山梨県のほうの問題じゃないんですよ。問題は東京へ行って、八王子・立川から三鷹の間なんですよ。ここのところが、高架になったけれども、まだ単なる複線ですから。これを複々線にしないと、黄色い電車は追い抜けないんですよ、特急は。だから、あそこでずっと30分以上時間がかかる。

○参加者

夜9時が最終なんですよ。新宿というか東京駅から。10時ごろまで陳情してくれと言われてますね。

○参加者

朝の特急、急行がもう1本、もう少し遅いものがあれば手ごろな時間に着くんだけれども。そのあとの電車だと、もう間に合わないとかという、あれが1本必要という話は、もうみんなしていますね。

○知事

これは山梨県以上に長野県のほうが切実なんですよ。松本とか諏訪とか、これは本当に朝なんかにしたって、山梨県は7時でしたね、確か甲府は。向こうは、だから6時ですか。もうちょっと早くしてもらえればね。朝5時ぐらいにあれば、ちょうど東京でも朝の会議に間に合うんですよ。

それを長野県と一緒に言うんですが、それだけの人はいませんと、言われてしまうんですよ。

毎年、JR東日本には長野県知事と一緒に陳情に行っているんですが・・・。

しかし、なかなか難しいですね。

○参加者

我々はまちづくりで一生懸命頑張っているんだけど、ハード的には非常に良くなってきているんだけど、振り返ってみると、若い人がどんどんいなくなって、年寄りばかりになってしまって、何か空き地ばかりになって、そういう現状になって、まちづくりって何なんだということに。そういうことに非常に通じるんですね。

○参加者

観光という点は非常にこれから大事で、山梨県も観光部をつくっていただいて、非常に歓迎するところですが、例えば九州に家族で鉄道で行きますと、すごく金がかかるんですね。もうちょっと合理化して、国民の移動ができるように、休暇というようなものも結構取られるようになってきたんだけど、もう電車は高すぎて。

ですから、ぜひ全国の知事さんと一緒に連携を組んで、今度はJRの運賃を下げるといふ。それによって、移動しやすくなると思うんですよ。観光で一生懸命やっている県は、そういうことを発信してもいいのかなと。

大阪とか、向こうから山梨に来たい人がいっぱいいると思うんですよ。こんなに素晴らしい環境があったり、自然がですね。だけど電車賃が高いです、はっきり言って。飛行機より、まごまごしていると高いぐらいですから、ぜひそういうものを、機会があれば発言していただければと思います。国に、あるいはJRに向かって。

○参加者

高速道路がただになったから、公共的輸送機関が大変なんですよ。お客さんが減っちゃって。

○参加者

ただ、1つ言えることは、新宿・甲府間が1時間30分、この時間をもっと有効的に使わなければいけないですよ。ただ、1時間30分乗物に乗るとなると、気持ちが入れ替わるんですよ。新宿から1時間30分経って、甲府へ着いたときには、「ああ、甲府ってきれいな街だ」とか、あるいは「水がおいしい」とか、「緑がきれいだ」とかね、空を見上げたら晴天率日本一だった。「ああ、甲府の青空ってきれいだな」と思ったら、ペDESTリアンデッキで消されちゃったとか・・・

例えば一つひとつ、そういうようなことをとらえていくと、1時間半という、その時間をもっと有効的に使う方法はないのかなというところから、観光立県というのは入ってくるのかなと思います。サプライズが何もありません、甲府へ来てても。

○知事

サプライズがね。確かに。

○参加者

新宿のサプライズですよ。高層ビルがすごいなど。甲府へ来たたら、何だかちょっと似たような、ちょっと背が低いものがある。

○参加者

やっぱり武田二十四将の大きい銅像でも、お迎えで出させなければ駄目だ。

○参加者

簡単に言うと、桜町の問題になっている踏切なんですけど、踏切を広げました、南へ行ったときに、今度は南側の営業の看板ばかり目だってしまったって、稲荷やぐらって目に入らないんですよ。

稲荷やぐらは松本から東京へ行く人は、「あっ、何かある」と気が付く。東京から来た人は気が付きませんからね。あれを見せるためには、わずかな空間を県有地として買収して更地にして見えるようにするとか。

○知事

あそこに古いビジネスホテルがいくつかありますけれどもね、ああいうものは将来的にはもちろんこれは県が買収して、あのお城の公園の中に含めていかなければいけないし、ホテル側でも、決して協力しないというのではなくて、どういうふうに駅前全体を計画、皆さんにいいように計画をつくられるのかと。そういう計画があれば、我々が協力できれば協力しますよと・・・。

しかし事業をやっていますから、当然、どこに移してくれるかと言う話は当然出てきますよね。

いろいろな利害関係、そしていろいろなことを考えていかなければいけない問題ですね。この北口、南口、駅の問題はね。

しかし、皆さんにいろいろなお話をお聞かせいただきましたが、改めて、難しさを非常に感ずるわけですが、しかしおっしゃるように、本当に山梨県のシンボルですね、やっぱり来て、「ああ、なるほど、素晴らしいな」と感じてくれるような、そういうところじゃなければいけないという気がしますよね。そういうものにしていかなければならないとも思いますね。

あと、まだお話をしてない方がいるんですが、いかがですか。

○参加者

最後に、貴重な時間で申し訳ございません。

こんなに皆さん熱く、山梨のことを良くしようと、こういう人たちが集まって、私利私欲無く話をするということで、改めて感謝しています。

○知事

こういう問題は、だけどやっぱり非常にいろいろなものが錯綜しているから、やっぱり県庁、市役所の皆さんが徹底的に話し合わなければ駄目ですよ。地域の中に入ってね。これは本当に非常に大事なことですよね。

市役所の皆さんは割りと住民の皆さんと話し合う機会が多いんだろうけれども、県庁の職員というのは、直接住民の皆さんと接触する機会が比較的少ないということがあるから、こういう話というのは徹底的に議論しないといけないですね。という気がしますね。

その点はよく我々も十分考えて、私もまたその担当者にはよくそのへんをしっかりと指示するようにしますので。

それぞれみんな100%いいというのは出てこないわけだけれども、あちらを立てれば、こちらが立たずということになりますから、100%満足ということ

にはならないけれども、そういう中でやっぱり衆知を集めて、これでいいじゃないかと、この地域の皆さんが思ってくれるような、そういうような案をつくっていかねばいけませんよね。

○司会

それではだいぶ時間が経過しましたので、意見はまだまだ尽きませんが、以上をもちまして、ひざづめ談議を閉じさせていただきたいと思います。